

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

平成26年1月21日

和泉市長 あて

団体名 信太の森芸能祭実行委員会

代表者名 山口正和

所在地 和泉市王子町

気付

電話

平成25年4月5日付け和泉公民協第2-13号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 1,175,254円  
(うち、対象経費 1,062,603円)
2. 交付決定額 500,000円
3. 添付書類  
(1) 事業報告書(様式第12号)  
(2) 収支決算書(様式第13号)  
(3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

平成26年1月21日

## 収支決算書

事業の名称： 信太の森芸能祭

## 1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	500,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	302,760	個人後援会費
	208,240	企業後援会費
カンパ	50,100	当日受付にて
自主財源	114,154	
合計	1,175,254	

## 2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	410,065	こども歌舞伎講師等謝礼
旅費	245,900	葛の葉ゆかりの招待団体 (対象外経費 46,900円)
消耗品費	56,559	啓発用団扇・ボールペン等 (対象外経費 1,912円)
食料費	120,869	弁当・飲み物代 (対象外経費 60,439円)
印刷製本費	46,210	ポスター・チラシ印刷製本代
役務費	2,110	振込手数料等
委託料	240,000	ビデオ撮影・音響設備一式
使用料及び賃借料	33,850	カツラ使用料・会場使用料 (対象外経費 3,400円)
原材料費	19,691	衣装及び大・小道具材料費
備品購入費		
合計	1,175,254	
対象経費	1,062,603	

※ 費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

(添付書類)

・事業の経費に係る領収書（原本）

\*この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

事業の名称	信太の森芸能祭
事業の実施時期 実施場所・内容	<p>時期 平成25年11月10日                      場所 鶴山台南小学校体育館                      参加人数 観客 400名 関係者 40名 計 440名                      内容 信太の森芸能祭のメインは、歌舞伎こども教室です。                      昨年より市川先生の愛弟子であるみおつくし歌舞伎の頭取の浅野剛史氏を指導者に迎え、市川先生とまた変わった演出で歌舞伎公演が出来ました。今回のこども教室の座員達は鶴山台南・北・信太小学校のこども達で、昨年に引き続きが9名で新規が10名で、市川先生が生み出した葛の葉物語の全三幕のうち、「信太明神境内出逢いの場」と「葛の葉子別れの場」を演じました。                      そして「葛の葉伝説」ゆかりの伝承芸能として岐阜県岩村町の「岩村町獅子舞」と伝統芸能「狂言大和座」を迎えました。                      その他、鼓聖泉による「いずみ太鼓」で激しく・美しく・悲しい音色で表現したほか、創作尺八で「葛の葉物語それからの童子丸」、コーラスグループ「童謡・唱歌を唄う会」が「信田の藪」等を観客と一緒に歌うなど大いに盛り上がりました。</p>
事業の成果	<p>「ちょいず」の支援を受け、「葛の葉」ゆかりの伝承地との交流について、岐阜県岩村町の重要無形民俗文化財・岩村町獅子舞保存会は岩村町800年の歴史を持つ3万石の城下町で江戸時代に生まれ四つの集落の人々によって保存・伝承されています。この獅子舞の最高の見せ場は「口・手(左手)足」を使って書く「恋しくば…」の場面です。今まではない葛の葉を見せていただきました。                      狂言については、葛の葉のジャンルから離れますが、大和座を主宰する安東先生は狂言を広く伝えるための活動として市民団体への講習会等を開催しておられ、今回縁あって出演して頂きました。                      会場の皆さんも始めて観られる方も多く「張りのある声・狂言独特の仕草に感動した」「次回も是非観たい」とのアンケートを頂きました。                      両者に加え、歌舞伎こども教室による「葛の葉伝説」の公演によりこの地に伝わる伝統文化を通じ演じる者と見る者が一体となった芸能祭が開催できました。7月から11月までの長い・熱い日の土曜日の稽古を乗り越え演技が出来たことや大勢の前で演技できたことはこども達にとって一生の思い出となったと思います。                      その他にも鼓聖泉による「いずみ太鼓」、地元で活躍するコーラスグループ、尺八など地元ボランティアが一丸となって開催できたことは、「ちょいず」の主旨である「市勢の活性化」「市民の相互交流」を促進する地域振興の一助となり得たと思っています。                      アンケートの結果を見ても、「今回の演し物が良かった」「葛の葉物語に感動した」等絶賛の声が多く聞かれるとともに、「今後も続けて欲しい」との回答も多くありました。                      多数の方が伝統文化を鑑賞する契機になったことや、この事業が地域の文化運動として貴重な役割を果たしているといえる。和泉の伝統文化を今後継承していきたい。</p>

<p>課題（今後の方向）</p>	<p>本事業を継続・発展させ、和泉の誇る伝承を歌舞伎等で市民や子ども達に伝承していく取り組みは、現在の社会情勢から考えても重要な課題と考えています。</p> <p>ただ、取り組みにはそれ相応の費用が必要であり「ちょいず」による補助金の他に企業や個人からの会費で賄っていますが、近年の経済情勢では企業等に無理なお願いもできない状況であります。</p> <p>また、歌舞伎子ども教室の生徒確保については近隣の小学校へ積極的にPRに取り組んでいますが、子どもたちの動向をつかめるのが難しく応募の締め切り後でないとは分からないのでいつも不安に思っている状況です。子どももさることながら、歌舞伎子ども教室を支える指導者も減ると共に年齢も高くなり大人の歌舞伎が公演できない状態でありスタッフの増員が急務であります。</p>
------------------	---

（添付書類）事業内容のわかる写真4～5枚（写真は返却いたしません。）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。